

試聴会・訪問記掲載

河口無線ゴールデンウイークオーディオ三昧報告(2016.5.6)

河口無線では、ゴールデンウイーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。今回もゴールデンウイークに合わせて開催されていましたのでCDを持参して聴いてきました。

場所：河口無線 3F ハイファイデリティ試聴室

月日：4月29日(金)～5月8日(日)

時間：PM1：00～PM5：00

<使用機材>

試聴対象は以下の3システムです。

【第一システム】



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



ヴィオラ プリアンプ カデンツァ ¥2,700,000



ヴィオラ パワーアンプ シンフォニー ¥3,348,000



エソテリック SACD プレーヤー K-01X ¥1,566,000



タスカム ワードクロックジェネレーター CG-1000 ¥162,000



リン ネットワークオーディオプレーヤー AKURATE-DS-K ¥972,000
【第二システム】



タンノイ 同軸2ウェイスピーカーシステム GRF90 ¥3,024,000 (ペア)



LUXMAN SACD プレーヤー D-08u ¥1,188,000



ラックスマン プリアンプ C-900u ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900u ¥1,188,000
【第三システム】



JBL ホーン型スピーカー Model-4367WX ¥1,555,200 (ペア)



マークレビンソン プリアンプ No52 ¥3,780,000



マークレビンソン モノラルパワーアンプ No536 ¥3,456,000 (ペア)



アキュフェーズ SACD プレーヤー DP-720 ¥1,188,000

<使用状況>

当日のセッティング状況は次の写真のとおりです。



【第一システム】

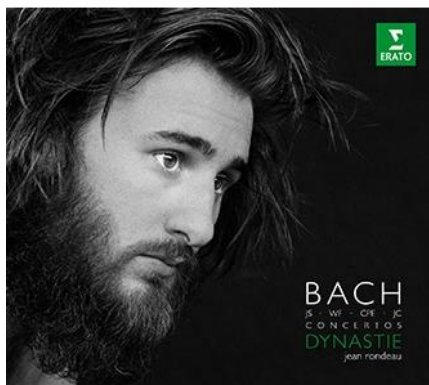


【第二システム】



【第三システム】

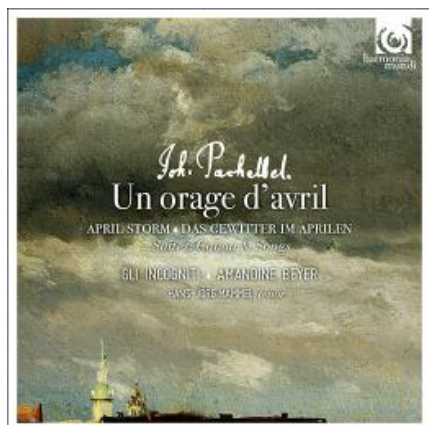
持参した CD は次の 4 枚で[ディスコグラフィーのページ](#)で紹介済みです。



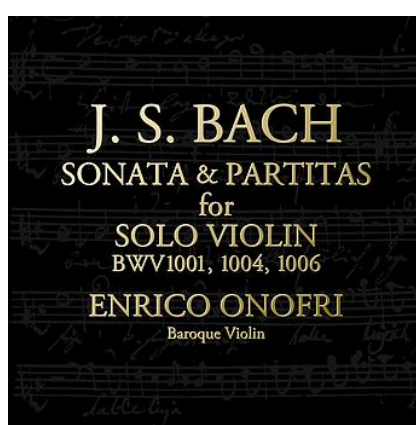
A



B



C



D

<試聴結果>

第一システムおよび第二システムで、演奏会で買い求めた [Aのチェンバロ](#)、[Cのバロックアンサンブル](#)、[Dの無伴奏バイオリン](#)を聴きましたが、演奏会の印象とは、かなり違って聴こえました。これらは初めて聴く第二システムを想定して持参しましたが、予想に反してタンノイの GRF90 は掴みどころのない印象でした。店のオーナーによると、入荷まもなくでエイジング不足のようだとのことでした。Bのケルンコンサートは第三システムを想定して持参しましたが、予想通りうまく鳴らしてくれました。店のオーナーがケルンコンサートのアナログ盤から録音して CDR に焼いたものを聴かせてくれましたが、元のアナログ盤の音が CDR にも引き継がれていて、こちらの方が好ましく感じられました。

この後、HANIWA AUDIO と河口無線で立ち上げた、新しいレーベルの TRUE SOUND の CD を数枚、店のオーナーに聴かせてもらいました。すべて、著作権の切れたアナログ盤から 192KHz,24bitPCM で録音した後、CD を作成したものだそうです。いずれも元のアナログ盤の音をかなりの程度再現しており、その中から Curzon と Vienna Octet のメンバーによるシューベルトの鱒を買い求めてきましたので、ディスコグラフィのページで紹介いたします。

以上